

# BBLセミナー プレゼンテーション資料

2023年3月29日

**「DXの思考法とスタートアップ:「DXの思考法」セミナーシリーズ総集編」**

金融庁総合政策局 リスク分析総括課金融仲介業室・

電子決済等代行業室 総括課長補佐

栗田 亮

# 金融編—金融サービスの顧客接点における変容

---

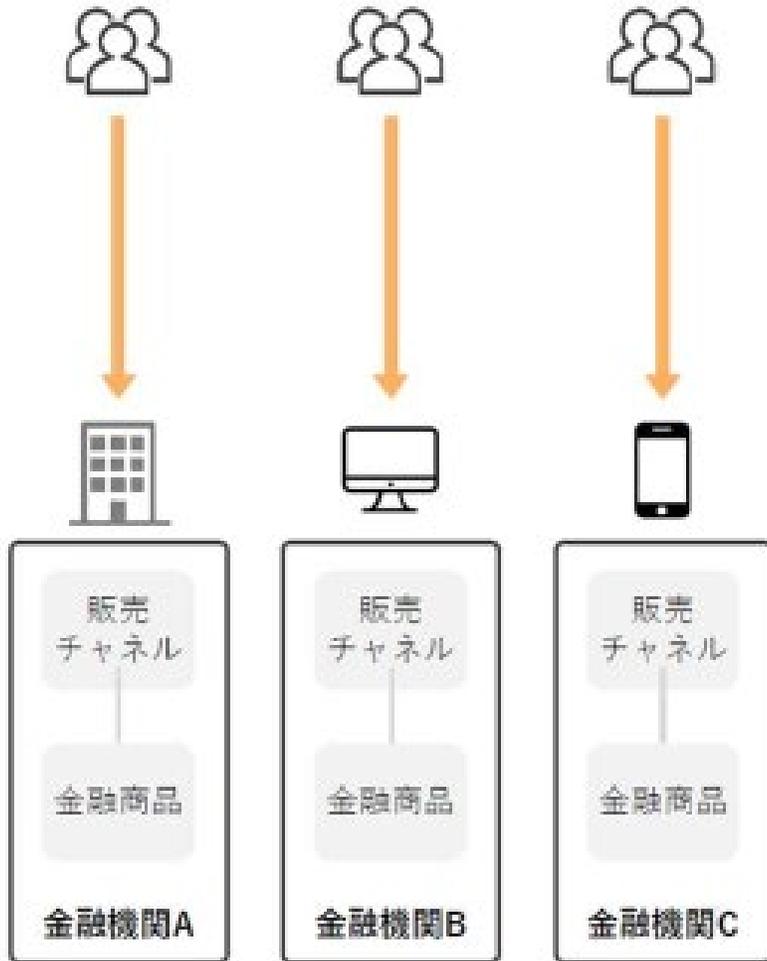


2023年3月29日  
金融庁 総合政策局

# 変容①: 埋込型金融: 「販売」について独自のレイヤーが出来つつある

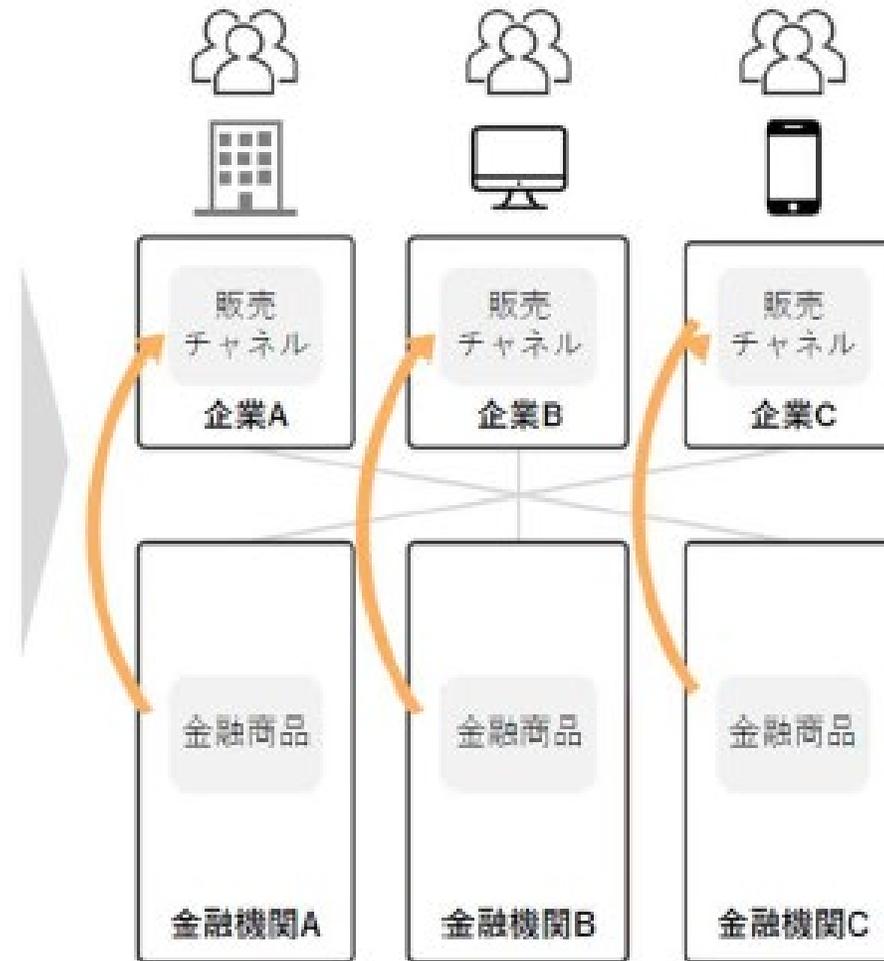
## 既存の金融業界

- 顧客を自社販売チャネルへ連れてくる



## 金融の“組み込み化”

- 顧客が日常的に利用しているサービスに金融商品を組み込む



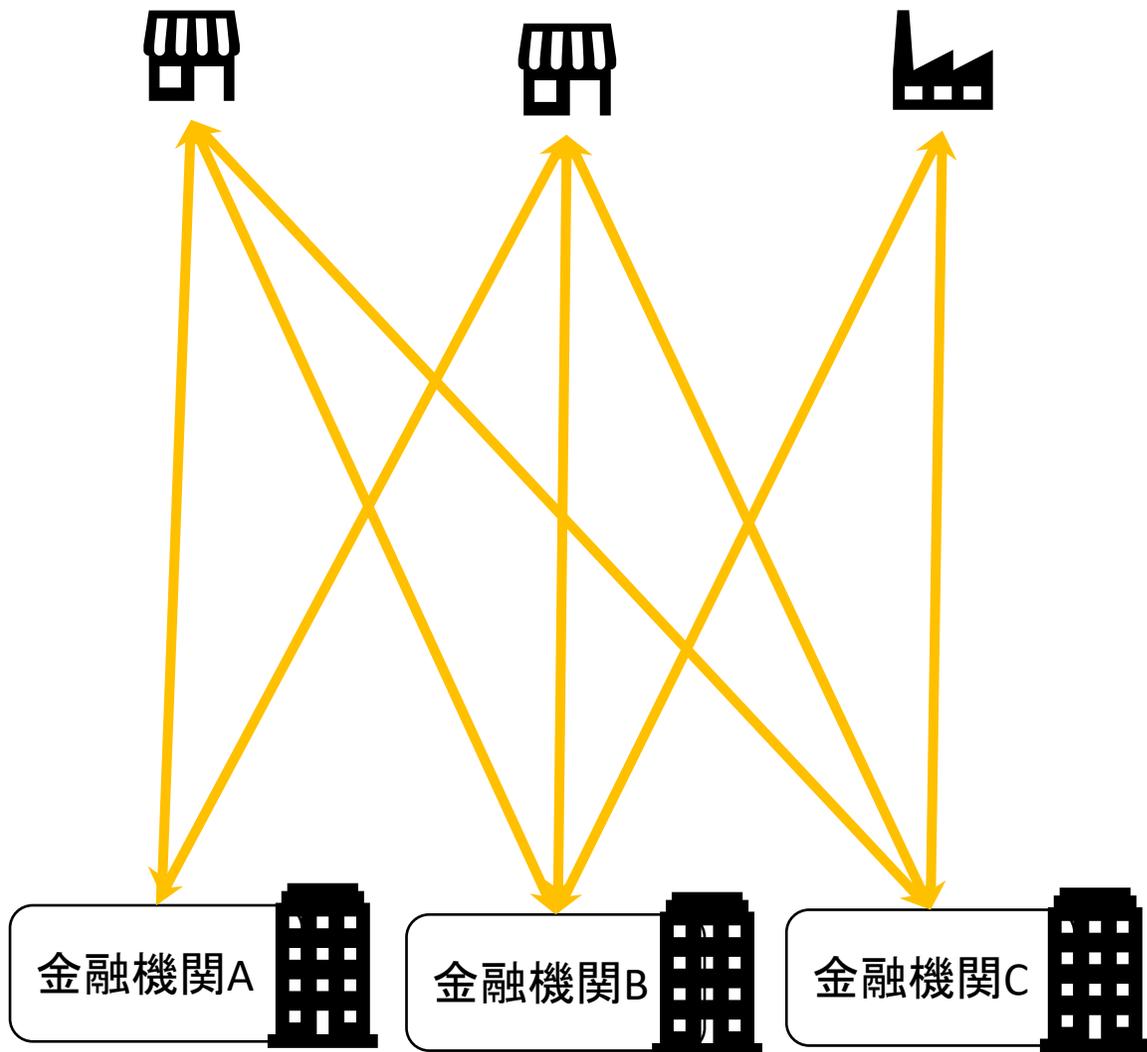
顧客接点を持つプラットフォーム（ECなど）

- シームレスなサービス提供
- マーケティングの外部化

## 変容②: データ分析を担うレイヤーが「販売」も担いつつある

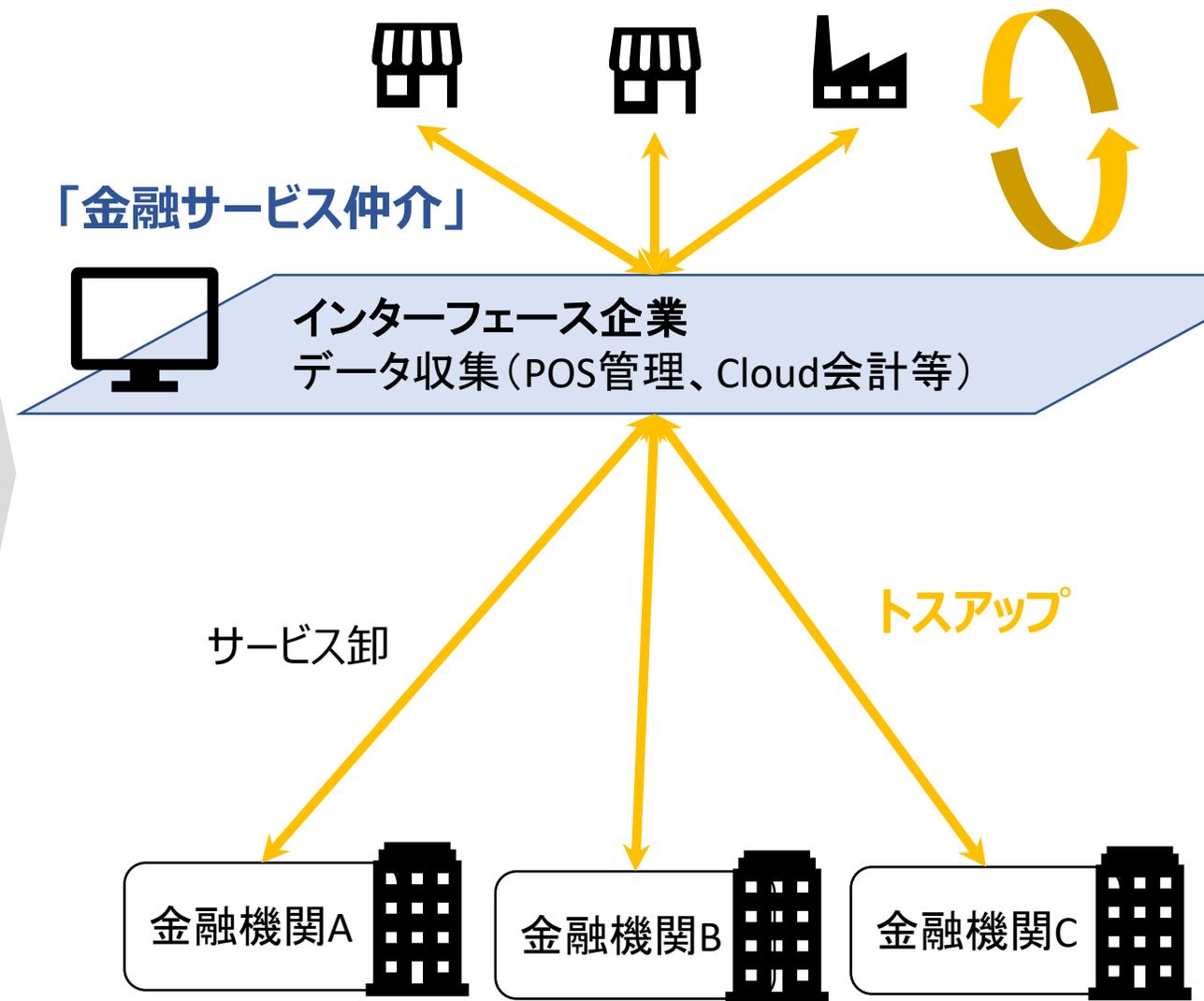
### 既存の金融業界

- 財務諸表の分析 / 日々のコミュニケーション



### 事業者接点のデータ化

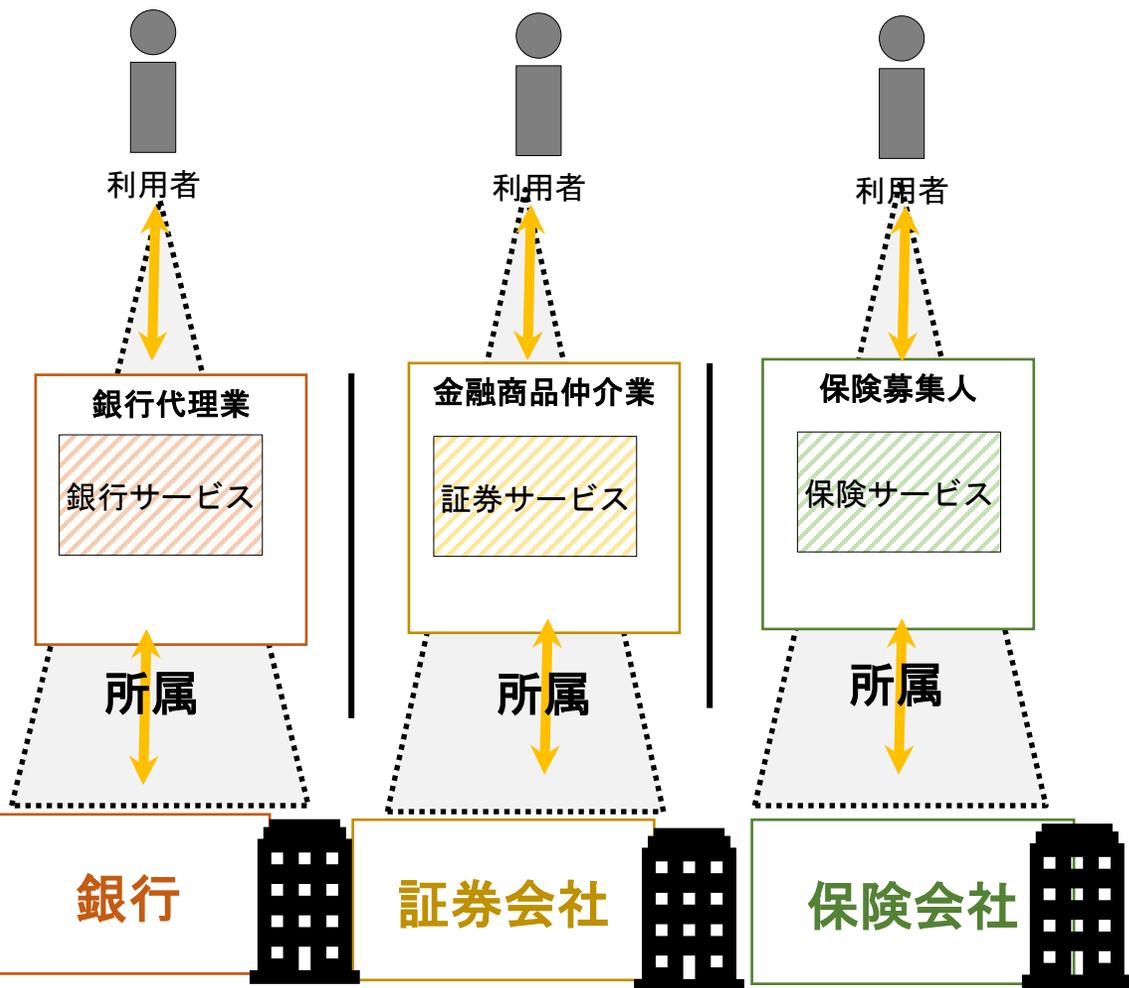
- タイムリーなニーズ把握



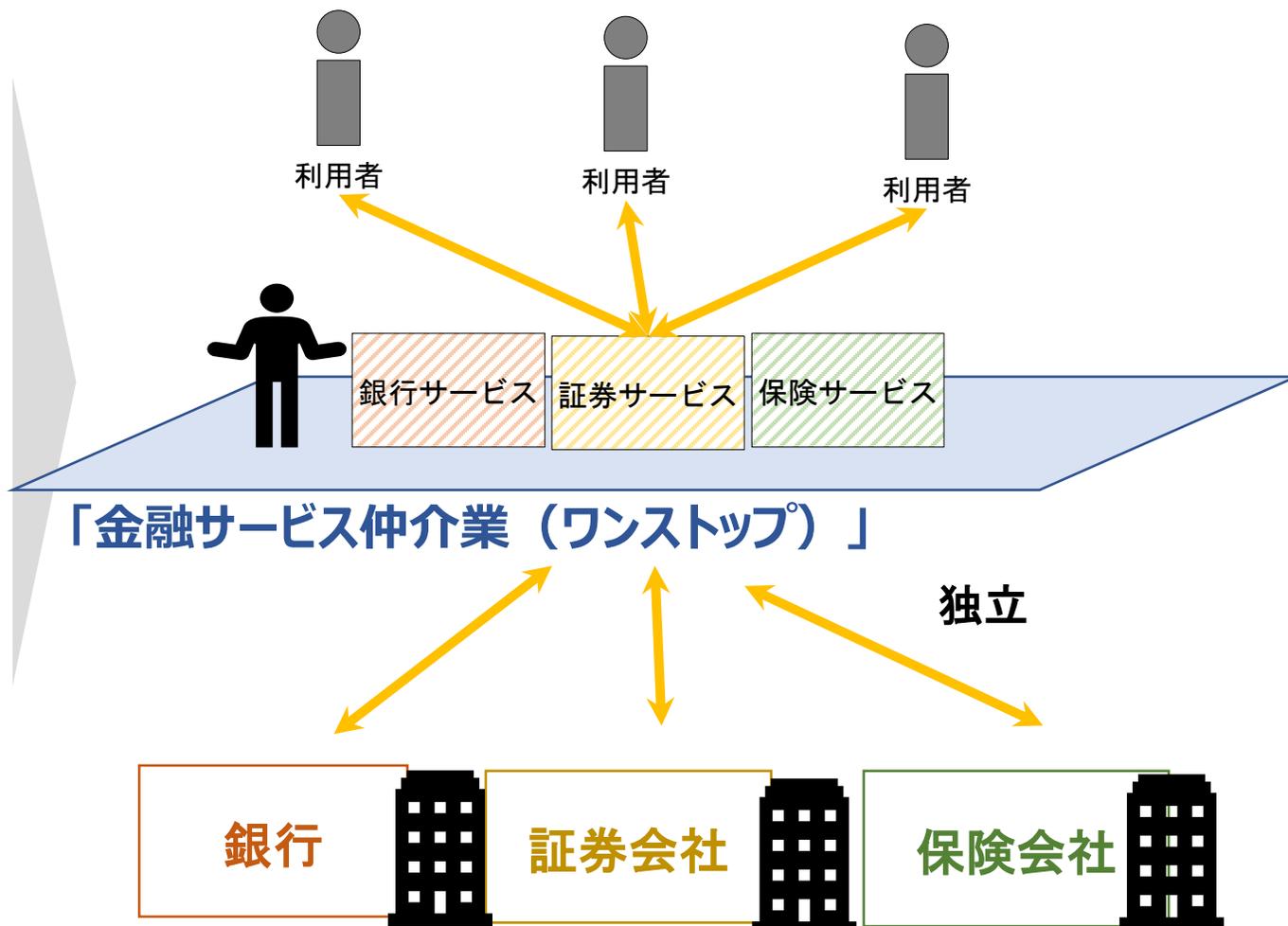
# 変容③：機能別横断法制—規制側も適用しようとしている

## 2021年11月より、金融サービス仲介法制が開始

### 業態ごとの縦割り規制（エンティティベース）

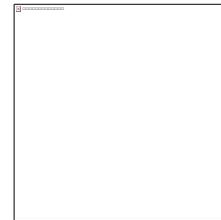
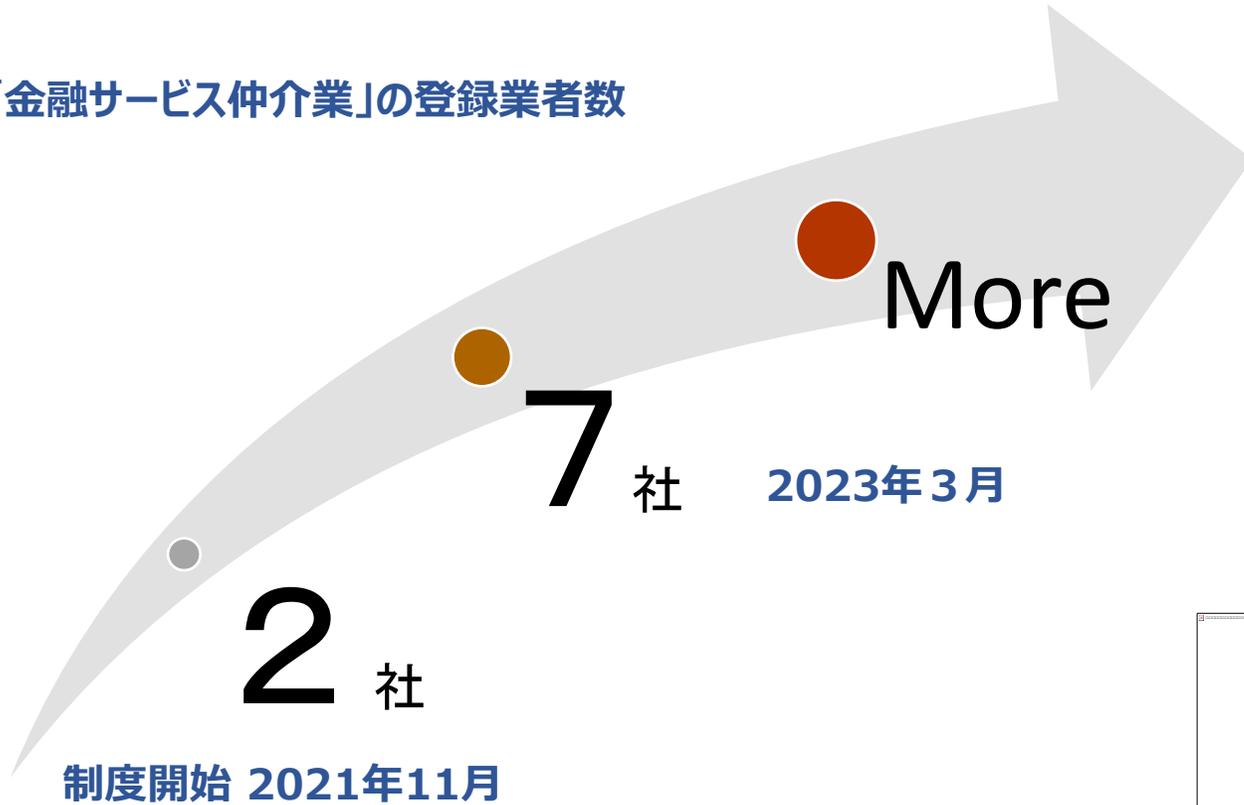


### 横断法制（機能ベース）



# 金融機関との外部連携が未だ進まない。

「金融サービス仲介業」の登録業者数



一部の金融機関の声

- ✓ 信頼関係を旨とするビジネスにおいて、顧客接点を第三者に渡すわけにはいかない。
- ✓ 顧客分化が起きているのはオンラインであり、地域金融機関にはオンラインの世界は関係がない。

# 「DXの思考法」



単純な仕掛けを作ると、目の前にないものも含めてなんでもできてしまうかもしれないという一般化・抽象化の思想がデジタル化の根底に常にある、

そのことが持つ破壊的とも言えるパワーがデジタル化を貫いていて、現代に至るまで、そして今後ますますそれが影響する範囲を広げつつある...

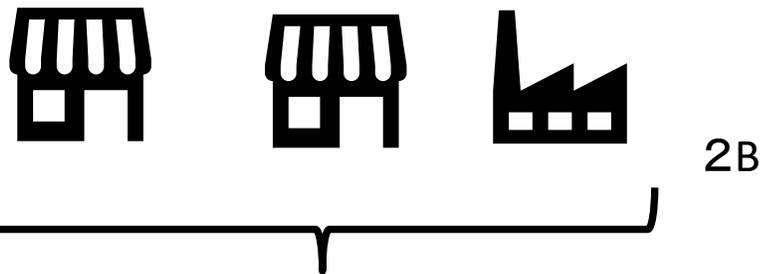
各社が独自のシステムをまず作り、その一部を共有するという発想から、共通のレイヤー構造を提供する仕組みが産業、社会のなかにあって、それをベースに各社は取捨選択を考え、真に自分で手がけて作る価値があるものだけを自前で作る、という発想に変わっていく

デジタル化でシステム構成がレイヤー構造になると、組織もまたそれを反映したヨコ割にならざるを得ない

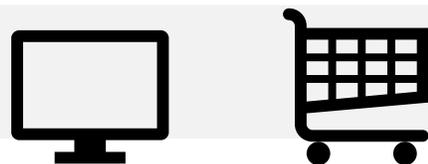
西山圭太～「DXの思考法」

# 金融業のレイヤー構造イメージ

エンドユーザー



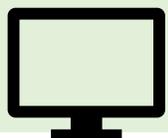
事業者 / マーケティング



データ収集・分析等



システム企業



金融機関



「DXの思考法」に即して、

- ✓ 業界の連携構造をどう見ているか。
- ✓ 自身の強みをどう見ているか。
- ✓ 過度に自前主義に陥っていないか。